

名理会だより

<https://meirikai.wp.tcp-ip.or.jp/>

令和6年11月29日
名古屋市理科教育研究会
第113号
事務局 広報係

青少年のための科学の祭典に出展

10月5日(土)・10月6日(日)の両日、名古屋市科学館にて「青少年のための科学の祭典」が開催されました。名理会からは、物理、化学、生物、地学の4つの専門部が出展しました。

物理専門部のブースでは、「傘袋ロケットをつくろう」というテーマでブースを開きました。傘袋に空気を入れ、指で押し込むことで飛ばす、という体験内容でした。体験した子どもたちは、「どうやったら勢いよく飛ぶか」「狙った場所に飛ばすにはどうしたらよいか」などを熱心に考えながら、楽しそうに何度も飛ばす様子が見られました。

化学専門部のブースでは「身近なものでハンカチを染めよう」というテーマでブースを開きました。午前の整理券も、午後の整理券も数分で配布終了という盛況ぶりで、参加者の大半は小学生でした。ハンカチを輪ゴムで絞り、タマネギの皮を煮出した煮汁で染め、ミョウバン水(媒染液)に入れ色素を定着させました。参加者全員が鮮やかな黄色のハンカチに染めることができました。参加者からは、「こんなにきれいな黄色に染まるんだ!」「きれいな水玉模様になったよ!」と言った声が聞かれました。

生物専門部のブースでは、「種の模型を飛ばそう」というテーマでブースを開きました。植物の種子が風を利用して、回転したり、滑空したりしながら遠くへ広がる仕組みを紙の模型を作って体験するという内容でした。体験した子どもから、「回転すると、ゆっくり落ちるんだね」「飛行機みたいに種が飛ぶ植物もあるんだね」などと言った声が聞かれました。

地学専門部のブースでは、「化石のレプリカ作り」というテーマでブースを開きました。様々な色のプラスチック粘土をお湯で温めて柔らかくし、アンモナイトや三葉虫などの型に当てることで化石のレプリカを作るという内容でした。当日は、絶え間なく参加者が訪れ、子どもだけでなく大人も体験をしました。体験した子どもから、「アンモナイトは貝みたいだね」「作るのが楽しい、また来ていいかな」などと言った声が聞かれ、好評でした。



各ブース、たくさんのお子様たちで大にぎわいでした。

各領域部会活動報告（生物領域・地学領域より）

今年度も、物理、化学、生物、地学の各領域それぞれが、できる限り多くの会員の方と学びを深め合えるように様々な形態での研修を行っています。今回は、生物と地学の領域から、その活動報告を行います。

生物領域部会 動植物観察会 & デジタル化推進

今年度も8月末に佐久島で、海の生物の観察を中心とした動植物観察会を予定していましたが、台風接近に伴い中止となりました。以前は春と夏に実施し、夏は宿泊研修を行っていた動植物観察会ですが、参加者の減少などの理由により、今年度から夏のみで日帰りの実施としています。生物領域にとって動植物観察会は、普段なかなか観察できない動植物が見られる場であるだけでなく、ベテランの会員から多くのことを学ぶことができる貴重な場でもあるため、来年度以降もできるだけ多くの会員が参加できる形で実施していきたいと考えています。

また、生物領域では近年、各種案内や資料をメールで送信したり、出欠席やアンケートの報告・集約に Google form を活用したり、会合の様子を Zoom で配信したりするなど、デジタル化により作業の効率化を進めています。今年度からは新たに LINE のオープンチャットを活用して、行事の様子についての配信や、出欠席の報告状況の連絡を行っています。



【LINE にて活動の写真を共有】

地学領域部会 天文研修会 & YCT

今年度の主な研修活動の一つとして、宿泊研修を8月9日（金）に実施しました。講師に、名古屋市科学館で学芸員をされている高羽幸先生をお招きし、「プラネタリウムでの理科教育」という演題で講演をしていただきました。普段「学校と科学館、お互いの強みを活かして子どもたちのためによりよい理科教育をしていきたい」という思いをもち、投影の際は「プラネタリウムで見上げた星を今度は本物の空で見てほしい」という気持ちで星の話をしているとおっしゃっていました。天文分野の学習や科学館への校外学習の際に活かされるお話を聞くことができ、貴重な学びの場となりました。



【高羽先生の講演の様子】

今年度の活動の一つとして YCT も行っています。毎月第2木曜日の午後7時から、Microsoft teams で行っています。毎回、学級経営に関することと理科に関することの2本立てで行っています。過去には「評価って？」や「どーする？宿題」などの話題を取り上げたり、もうすぐ授業が始まるであろう理科の単元の教材を紹介したりしました。これからも皆さんと学びを積み重ねていきたいと思えます。